

令和 4 年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	3 2	学校名	茨城県立東海高等学校						課程	全日制		学校長名		正 木 昇			
教頭名	木田 智子										事務（室）長名		岡 部 久 美				
教職員数	教諭	3 1	養護教諭	1	常勤講師	1	非常勤講師	0	実習教諭、実習講師、実習助手		1	事務職員	3	技術職員等	3	計	4 3
生徒数	小学科		1 年		2 年		3 年		4 年		合計		合 計 クラス数				
			男	女	男	女	男	女	男	女							
	普 通 科		64	96	50	106	46	85			160	287	12				

2 目指す学校像

・生徒、教職員、家庭、地域が連携し、地域社会から愛される学校。 ・一人一人の自主性、自立性(自律性)を育むとともに、明るく誠実で、知性豊かな、心身ともに健康な生徒を育成する学校。
--

3 三つの方針（スクール・ポリシー）

育成を目指す資質・能力に関する方針 （グラデュエーション・ポリシー）	（長期的目標） 地域を支える核となって活躍する、社会に貢献できる人財の育成
教育課程の編成及び実施に関する方針 （カリキュラム・ポリシー）	（中期的目標） 生徒一人一人の幅広いニーズに対応した教育課程による、就職から進学までの進路希望実現。
入学者の受入れに関する方針 （アドミッション・ポリシー）	（短期的目標） 自己実現・進路目標実現を目指し、日々努力する生徒の受け入れ

4 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導（教育課程）	・学習意欲、目的意識に生徒間で温度差がある。 ・基礎学力不足の生徒が多い。	・家庭学習習慣のない生徒が多い。 ・進路意識の不足による対応の遅れがみられる。 ・進学者の一般受験忌避傾向が強い。
進路指導 キャリア教育	・進学者は 121 名、就職者は 28 名、未定 6 名。昨年度比進学が 13 名増、就職 18 名減。 ・大学の総合型選抜に対応できる学力が不足している。 ・就職試験一次不合格者が希望職に拘泥し、進路決定までたどり着けない。	・1 年次からのキャリア教育の充実と計画的な指導体制の確立。 ・生徒一人一人の能力適性に応じた個別指導の強化。 ・進路未決定者、就職・進学ミスマッチを減らすため、進路に対する意識付けの機会を増やすなどの具体的な

別紙様式 1 (高)

地域との連携 (保護者、地域住民等)	・部活動や生徒会の村主催イベントへの参加 ・学校公開、村との共働学習	取り組み。 ・地域に貢献できる人財の育成。
-----------------------	---	--

5 中期の目標

・生徒一人一人の学力向上と意欲的な学習を促すため、生徒の能力に応じた細やかな授業を展開する。 ・進路目標を早期に明確化させるとともに、望ましい勤労観・職業観の育成を図る。 ・基本的な生活習慣や規範意識を身に付けさせると共に、家庭との連携のもと、心の教育の充実を図る。 ・地域社会との連携を深め、教育活動の充実を図る。 ・働き方改革を推進し、教職員の健全な勤務体制を図る。

6 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
・学び直しと観点別学習状況の評価を生かした学習指導を行い、ICT 等を活用しながら個々の学力向上に努める。	・年間指導計画表を活用して、組織的・計画的な学習指導を推進する。 ・ICT 等の活用を含めて指導方法の工夫・改善に努め、基礎的・基本的な知識の定着を図る。 ・個々の学習課題を提示することにより、学習目標を明確にさせ、生徒の意欲を喚起する学習指導を行い、学力の向上を図る。
・多様な個々の進路希望にむけ、指導体制を確立し指導の充実を図る。	・生徒の進路情報収集に関する不安解消に努め、進路実現のため必要な情報提供を目指す。 ・就業体験(インターンシップ)や幼稚園体験実習、1日看護体験等とおして、自立心や職業観を育成し、キャリア教育の充実を図る。 ・進学、就職のための学習指導の充実を目指す。
・基本的生活習慣の確立を図り、社会に通用する自主的・自立的(自律的)な態度の育成に努める。	・家庭や地域との連携を密にし、相互の信頼・協力を基に生徒の健全な育成に努める。 ・服装、頭髪、公衆道徳等の指導をととして、規律のある明るい学校を確立するとともに、教職員が共通理解のもと一貫した生活指導を行う。 ・道徳の授業を充実させ、健全な心の育成を図る。 ・シチズンシップ教育や情報モラル・公共マナーの指導等をととして、社会性を育成する。
・生徒会活動・部活動を奨励し、スポーツ・文化・芸術を親しむ態度と達成感や連帯感の育成に努める。	・自主的・主体的な生徒会活動・部活動の活性化をととして、集団の一員としての自覚を促し、他と協調できる豊かな人間性を育成する。 ・部活動の3年間継続を目標とさせ、技術・体力の向上を図り、心身ともに健全な生徒の育成に努める。 ・ボランティア、体験活動、地域の行事への積極的な参加を促し、奉仕の精神、自立への精神を育成する。 ・キャリアパスポートを活用し、学校行事、部活動などでの様々な体験や学びを通して、人間関係形成、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力の伸長を図る。
・地域と連携し、信頼される魅力ある学校づくりに努める。	・地域の行事等に積極的に参加するなど、地域との連携を深める。 ・広報活動を充実し、新聞社への投げ込み等積極的に学校の活動状況を発信する。
・働き方改革を進め、教育活動の精選と充実を図る。	・校務の適正な分担を図り、各自週1日以上 の定時退勤日を設ける。 ・ICT 等を活用することで教材の共有化や精選・充実を図り、教員と生徒が向き合う時間を確保する。